

Exchange Online/Outlook.com の SMTP サーバーの設定

弊社製品（複合機 / プリンター）の設定について説明しています。

Internet Services を使用して、OAuth 2.0 認証を使用する Exchange Online/Outlook.com の SMTP サーバーを設定します。

注記

- ・SMTP サーバーは 1 つしか設定できません。後から設定した内容が有効になります。
- ・OAuth 2.0 認証を使用する Exchange Online/Outlook.com の SMTP サーバーを設定した場合、本機の操作パネルでの設定内容は使用されず、SMTP サーバー名は空欄となります。操作パネルで SMTP サーバー名を入力した場合は、Internet Services の [サービスプロバイダー] の設定が [指定しない] に変更されます。

Microsoft Entra ID 上での管理者による同意

Exchange Online のメールアドレスを使用する場合、本機が以下の各処理を行うことを事前に同意していただく必要があります。

- ・ユーザーのメールアドレスなど基本情報の参照
- ・ユーザーのメールへのアクセス

補足

- ・同一のテナントに対する管理者の同意は、一度だけで問題ありません。
- ・Outlook.com のメールアドレスを使用する場合は、この操作は不要です。
- ・Microsoft Entra ID については、Microsoft 社の公式サイトを参照してください。

1. Web ブラウザーのアドレス入力欄に以下の URL を入力し、<Enter> キーを押します。

https://login.microsoftonline.com/common/adminconsent?client_id=c88859d7-e6a2-48cb-acee-669df3387654&redirect_uri=https://opencds-fb.fujifilm.com/gen/mfp_aux/adminConsent.html

2. グローバル管理者のアカウントでログインします。

3. 権限に対する同意画面が表示されたら、内容を確認し、[承諾] をクリックします。

4. 同意成功の画面が表示されたら、Web ブラウザーを閉じます。

Internet Services での SMTP サーバー設定

注記

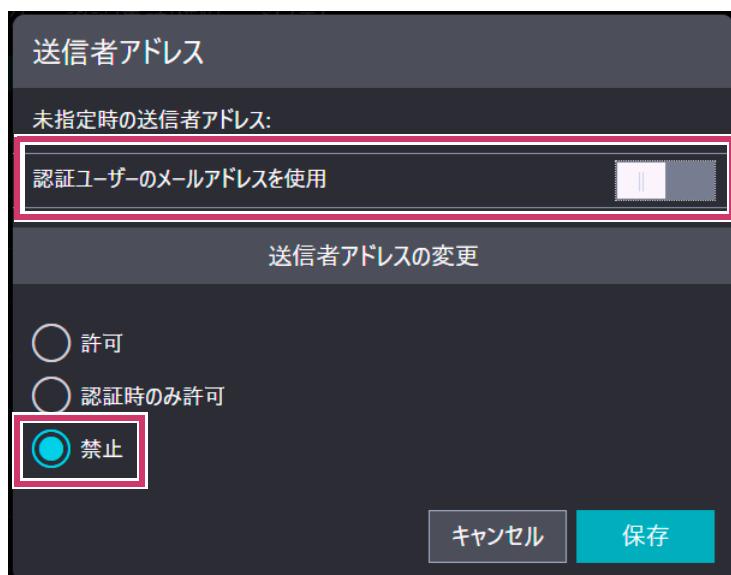
[サービスプロバイダー] で [Exchange Online/Outlook.com] を選択した場合は、[アプリ] > [メール送信] > [動作設定 (アプリ共通)] > [送信者アドレス] で次の設定を行ってください。

- ・[認証ユーザーのメールアドレスを使用] の設定を無効にする
- ・[送信者アドレスの変更] の設定を [禁止] にする

これらの設定を行わないと、メール送信時に送信拒否のエラーになる場合があります。

ただし、メール送信アプリで UPN (ユーザーープリンシパル名) とは異なるメールアドレス * を送信者アドレスとして使用する場合は、[送信者アドレスの変更] の設定を [禁止] にする必要はありません。

* : 変更したプライマリメールアドレス、エイリアスとして追加したアドレス、Exchange 管理センターで代理送信の設定を行ったアドレスなど



1. Internet Services に機械管理者としてログインします。
2. 必要に応じて、DNS サーバーとプロキシサーバーを設定します。
3. [ネットワーク] > [プロトコル設定] > [SMTP] をクリックします。

注記

[送信時の認証ユーザー] が [外部認証のユーザー] に設定されている場合は、[本体設定] に変更してください。また、[本体設定] に変更した後は、本機の操作パネルから [送信時の認証ユーザー] を [外部認証のユーザー] に変更しないでください。変更すると、メール送信時に認証エラーになります。

4. [サービスプロバイダー] をクリックし、[Exchange Online/Outlook.com] を選択します。

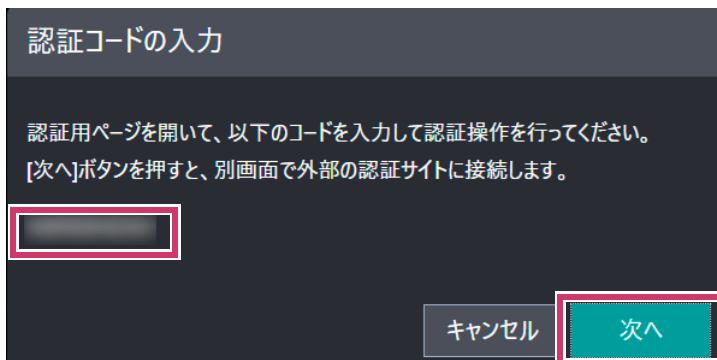


5. [保存] をクリックします。

注記

特別な理由がない限り、[受信ポート番号] 以外の項目は変更しないでください。

6. 【認証コードの入力】画面で、[次へ] をクリックします。



7. コードの入力画面で、【認証コードの入力】画面に表示されたコードを入力し、[次へ] をクリックします。

8. サインイン画面で、送信用メールアドレスが設定されているアカウントでサインインします。

注記

Microsoft Entra ID の条件付きアクセスのポリシー設定により、認証が制限される場合があります。特に「デバイスコードフローのブロック」などのポリシーが有効になっていると、認証が正常に行えないことがあります。認証が制限される場合は、必要に応じて弊社アプリケーションや認証に使用するユーザーをポリシーの適用対象外とする設定を行ってください。詳細な設定方法については、Microsoft 公式ドキュメントを参照してください。

9. サインインに成功したら、サインイン画面を閉じます。

サインインしたアカウントのメールアドレスが、本体メールアドレスに設定されます。



注記

サインインしたアカウントの UPN と本体メールアドレスは、同じである必要があります。

本機の本体メールアドレスにはサインインしたアカウントのプライマリメールアドレスが自動的に設定されるため、プライマリメールアドレスが UPN と異なる場合は、Internet Services の [機械の詳細] ダイアログボックスで本体メールアドレスを UPN に変更してください。UPN と本体メールアドレスが一致しない場合は、メール送信時に認証エラーになります。